

平成31年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第6号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年8月22日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並が多い

○9月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		9月の発生量 (平年比)	8月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
カンショ	① ナカジロシタバ	並	→	(発生なし)並	例年の発生量の推移 (→)
	② イモキバガ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
かんきつ (温州ミカン)	① かいよう病	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	② 黒点病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	③ そうか病	多	↗	多	平年の発生量の推移 (↗)
	④ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	⑤ ミカンハモグリガ	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移 (↘)
	⑥ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
かんきつ (タンカン)	① かいよう病	並~やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗) 発病葉率が平年よりやや多い
	② 黒点病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移 (↗)
	③ そうか病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	④ アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	⑤ ミカンハモグリガ	やや多	↘	多	平年の発生量の推移 (↘)
	⑥ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	やや多	↘	やや多	トラップ誘殺虫数が平年よりやや多い 平年の発生量の推移 (↘)
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移 (↗)
	③ ハダニ類	並~やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5~10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3~4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○9月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		9月の発生量 (平年比)	8月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
へちま	① ベと病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移 (→)
	② うどんこ病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移 (→)
	③ ハモグリバエ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移 (→)
	④ ヒメクロウリハムシ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	⑤ ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	つる先の平年の発生量の推移 (→) 葉の平年の発生量の推移 (→)
オクラ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並～やや多	→	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	④ チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
かんきつ	果樹カメムシ類 (ミナミトゲヘリカメムシ)	病害虫防除員報告によると、本島北部で中発生であった。 落果の原因となるため、ほ場を見回り早期発見・早期防除に努める。
オクラ	オオタバコガ	調査の結果、オオタバコガの発生が確認された。 老齢幼虫では薬剤効果が低下するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら速やかに防除を行う。 被害果や摘芯、摘花した腋芽・花蕾等の残さは、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 宮古群島 病害虫発生予報 第6号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年8月22日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並か多い

○9月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		9月の発生量 (平年比)	8月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	少	→	少	トラップ誘殺虫数の平年の発生量
	③ メイチュウ類 (イネヨトウ)	並~やや少	→	並	トラップ誘殺虫数の平年の発生量
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	→	並	新梢の発生量が増加するため
	② マンゴーハフクレタマバエ	多	↗	多	新梢の発生量が増加するため 平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 八重山群島 病害虫発生予報 第号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和元年8月22日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並か多い

○9月の発生予報 (八重山群島)

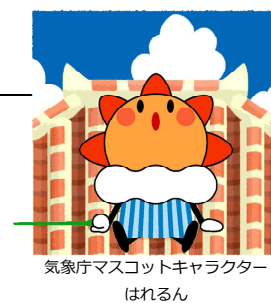
作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		9月の発生量 (平年比)	8月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他(気象要因など)
水 稲	① スクミリングガイ	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	② メイチユウ類(カンシャシクイハマキ)	並	→	並	トラップ誘殺虫数の平年の推移
マ ン ゴ ー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
オ ク ラ	① フタテンミドリヒメヨコバイ	やや多	→	やや多	平年の9月の発生量
	② アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。
 ●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
 ●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値
 ※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

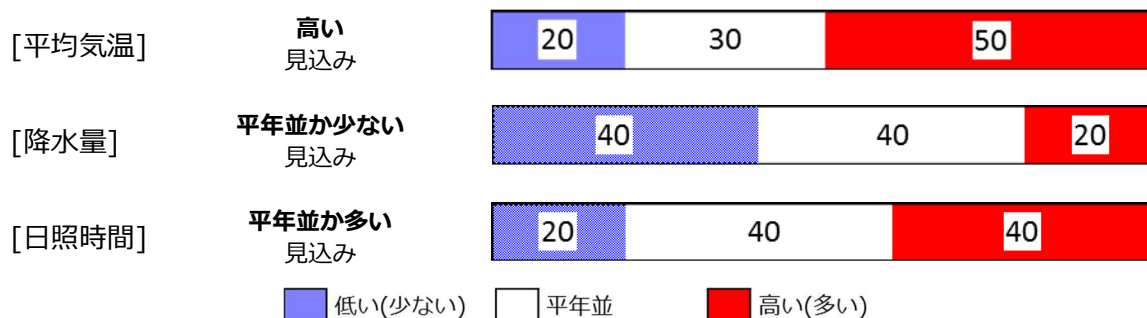
向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（8月24日～9月23日）



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

- 気象予報のポイント
 - 向こう1か月の天候は、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
 - 暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の平均気温は高いでしょう。
 - 湿った空気の影響を受けにくく、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

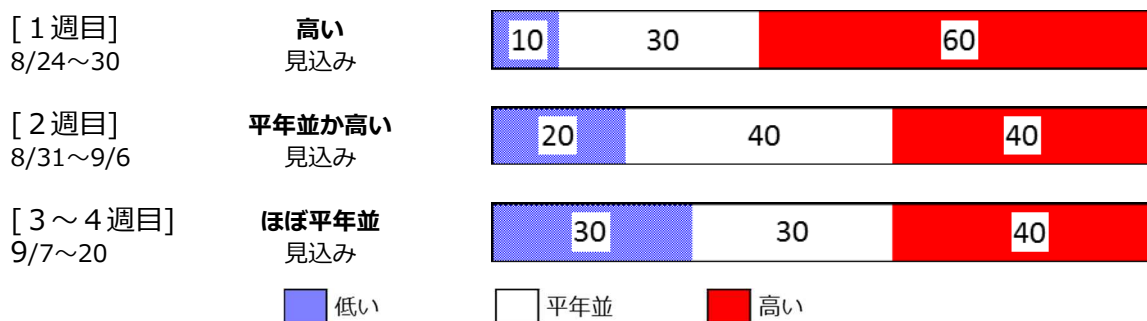


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.1～+0.3℃	平年比：80～115%	平年比：94～107%
那覇	28.0～28.4℃	133.7～268.0mm	171.2～198.6時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.2～+0.3℃	平年差：-0.2～+0.2℃	平年差：-0.1～+0.3℃
那覇	28.4～28.9℃	28.1～28.6℃	27.7～28.2℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119
宮古駐在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内) TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内) TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157